

# 官民連携による 公共空間などの活用方策

～自治体職員によるワークショップをふりかえって～

国土交通省 中国地方整備局  
建政部 都市・住宅整備課  
令和3年 3月

# 目次

## はじめに

1. 公共空間の活用などに関する意向調査  
(自治体へのアンケート調査やヒアリング調査)
2. ワークショップのプログラム
3. 第1回ワークショップの概要
4. 第2回ワークショップの概要
5. 第3回ワークショップの概要
6. おわりに

# はじめに

## 本資料の位置づけ

中国地方整備局では、各地方公共団体の公共空間や低未利用地の活用における実情を踏まえながら、まちのにぎわい再生に向けた取組を一つでも実現するため、可能な限りの技術的な支援を実施したいと考えています。

令和元年度には「官民連携による低未利用地の活用に関するワークショップ」として、各地方公共団体の抱えている課題について、まちづくり専門家も交えて意見交換を実施する機会を設け、16団体から21名の方に参加いただきました。令和2年度についても、まちづくり専門家を交え、オンライン形式を基本としたワークショップを開催し、3つの自治体に参加いただき、各自治体の抱える課題解決に向けた取組について、意見交換を実施しました。

本資料はそのワークショップにおける専門家からのレクチャーや参加者による意見交換の結果を総括し、空間活用にあたってのヒントとして取りまとめたものです。ワークショップに参加いただいた方、参加いただけなかった方も含め、公共空間や低未利用地の活用を検討するにあたって、本資料が取組推進の一助になれば幸いです。

令和3年 3月  
中国地方整備局 建政部  
都市・住宅整備課長

# 1. 公共空間の活用などに関する意向調査 (自治体へのアンケート調査及びヒアリング調査)

# 1. 公共空間の活用などに関する意向調査

## 中国地方整備局管内での公共空間や低未利用地の活用状況は？

○中国地方整備局管内における公共空間などの活用状況や取組を進めるにあたっての課題などを把握するためのアンケート調査を実施

### アンケートにおける設問

- ① 低未利用地やオープンスペースの活用状況
- ② コロナ道路占有許可を始めとする  
道路空間の活用制度の認識
- ③ 道路空間の活用に関する取組の経緯
- ④ 取組を実行するにあたって直面している課題
- ⑤ ワークショップへの参加意向

### ▼アンケート調査票

#### 公共空間や低未利用地の活用に関するアンケート

以下の設問にお答えください。なお、回答については、Word 上で直接記入（選択肢には○を、自由記述欄には直接入力）してください。自由回答は、調査票の改ページは気にせず、ご記入ください。

Q 1. 貴市町村における、人口減少に端を発するまちのにぎわい低下などに対して、市街地内での空き家や低未利用地、オープンスペースなどの活用に関連する取組について、ご記入ください。

（該当するもの1つを選択の上、自由記述欄に記入）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既に実施している</li> <li>2. 現在検討している（検討する予定があるも含む）</li> <li>3. 検討したいが未着手である</li> <li>4. 特に検討の予定はない</li> </ol>
⇒上記の回答について、その内容や理由をご記入ください （例：駅前の広場空間を活用して定期的にマルシェイベントを実施 など）

Q 2. 国土交通省では、新型コロナウイルス感染症の影響に対応するため道路占有の取扱に特例（一定の条件下、道路空間内での商業が可能など）を設けています（令和2年6月5日付け通達）。この占有許可の取扱に加えて「歩行者利便増進道路（道路改正）」や「潜在快速性等向上区域（都市再生特別措置法改正）」といったにぎわいづくりなどに資する新しい制度を拡充しています。このような制度についての認識についてご記入ください。

（該当するもの1つを選択）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 支援内容も含めて認識しており、既に取組を進めている（予定も含む） ⇒ Q 3に進んでください</li> <li>2. 支援内容も含めて認識しているが、具体的な動きにはなっていない ⇒ Q 4に進んでください</li> <li>3. 名称のみ認識しているが、具体的な内容については把握していない ⇒ Q 4に進んでください</li> <li>4. 名称も認識していない ⇒ Q 4に進んでください</li> <li>5. その他（具体的に記入： _____） ⇒ Q 4に進んでください</li> </ol>
---

Q 3. 【Q 2において「1」を選択した方のみ】貴市町村における、取組はどのような経緯で実現に至りましたか。また、それはどのような内容ですか。

（該当するもの1つを選択の上、自由記述欄に記入）

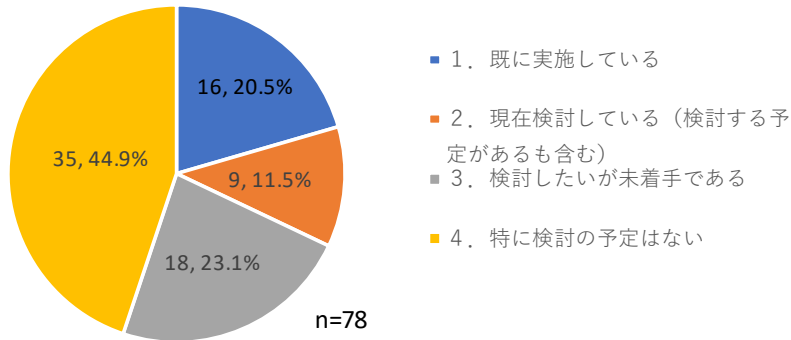
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共側から民間側に提案し、実現に至った</li> <li>2. 民間側から公共側に提案があり、実現に至った</li> <li>3. 大学などの第三者が、公共側・民間側をコーディネートし、実現に至った</li> <li>4. その他（具体的に記入： _____）</li> </ol>
⇒貴市町村における取組内容をご記入ください （例：中心市街地の商店街において、オープンカフェを運営）

# 1. 公共空間の活用などに関する意向調査

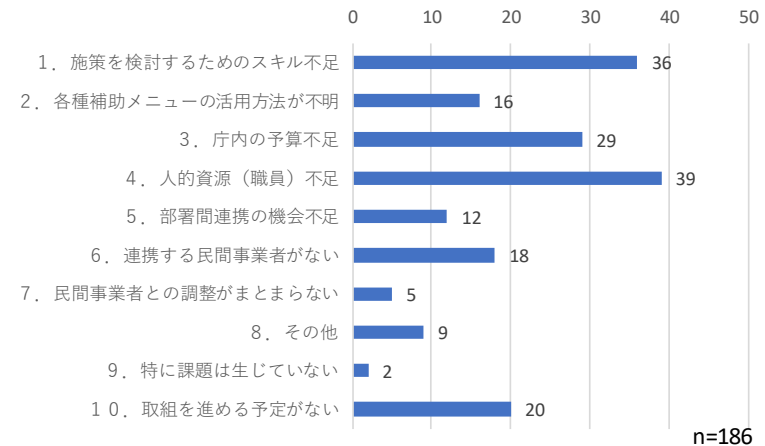
## 取組に関心のある自治体は約半数

- 3割程度の自治体が空間活用に取り組んでいる一方、約2割の自治体は検討したい意向は持っているものの未着手（合計5割程度の自治体が何らかに関心を持つ）
- 取組を実行するにあたっての課題解決に向けた支援をワークショップを通して実施

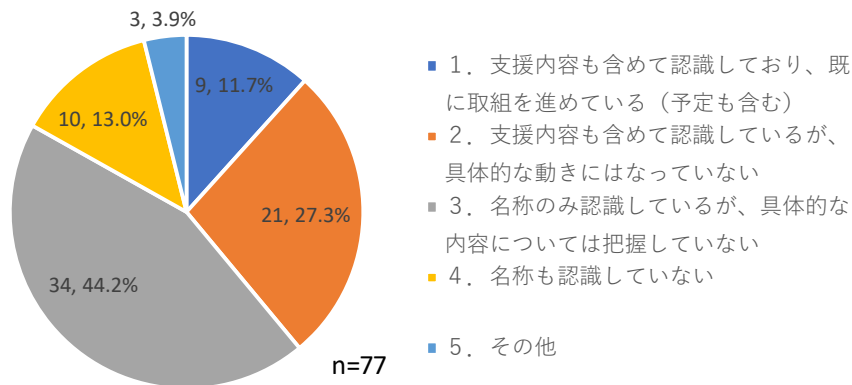
### ▼低未利用地やオープンスペースの活用状況



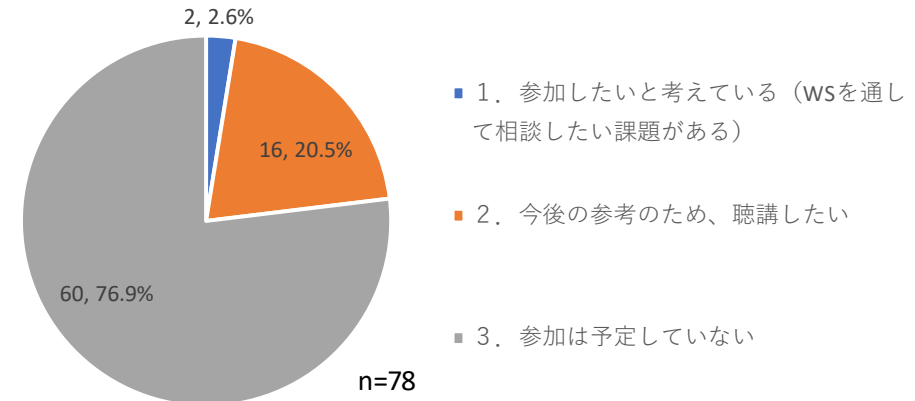
### ▼取組を実行するにあたって直面している課題



### ▼道路空間の活用制度の認識



### ▼ワークショップへの参加意向



# 1. 公共空間の活用などに関する意向調査

## 抱えている課題を踏まえた上でワークショッププログラムを検討

- アンケート結果などにより、**江津市・倉敷市・竹原市**を参加自治体として調整
- ワークショップ参加自治体を調整後、**参加自治体に対して抱えている課題をヒアリング**し、ワークショップのプログラム検討に反映

### 江津市

- 江津駅前周辺において、**密集市街地の解消**を進めている。主に狭隘道路の解消を進めているが、**道路改修を超えるスピードで老朽化や空き家化**が進む。
- 地権者には道路整備でご協力（用地買収に応じる等）をいただいているが、なかなか**自ら進んで土地を活用していく**という感じではない。



出典：江津市作成資料

### 倉敷市

- 再開発「あちてらす倉敷」で生まれるオープンスペース**（公共空地と民地のセットバック部分）を賑わい活動に活用できないか検討している。
- 日常の賑わい創出活動や維持管理は、まちづくり協議会が主体となって行う方針としているが、**どうやって協議会を設立していけばよいか**悩んでいる。



出典：倉敷市作成資料

### 竹原市

- 沿道店舗、まちづくり会社、住民等で、**パーキングデーにより社会実験**を実施し、月1回程度、駐車帯を活用した滞留空間の企画を実施している。
- メンバーの動きはよいが沿道店舗の参加が課題であり、**取組を上手く継続していくための工夫**について課題を抱えている。



出典：竹原市作成資料 6

## 2. ワークショップのプログラム



## 2. ワークショップのプログラム

### 1つでも多くの取組が実現するよう、専門家からもアドバイス

- 道路を含む公共空間や低未利用地を活用したまちづくりに関しては、既に取組を進めている団体から、今後検討を進める団体まで、**各地方公共団体によって状況は様々**（各団体の課題に対応した支援に深度化）
- 取組を前に進めるにあたって直面している課題に対して、**まちづくり専門家からアドバイスをいただき、取組の実行につなげていただく**
- 聴講される方についても、講義や議論の内容を各団体にフィードバックいただき、**今後一つでも多くの官民が連携した取組が具体化することを期待**

### ワークショップの狙い

- **今後の官民が連携した公共空間や低未利用地の活用について、専門家によるアドバイスを受けて、官民連携の取組を具体化・継続**
- **取組を組成・先導するための知識やスキルを身に付け、具体的な取組を組成**

■多世代交流スペースしばふ広場（宇部市）



■GREEN BLVD MARKET（豊島区）



## 2. ワークショップのプログラム

### 自治体の課題認識に応じて、各回のテーマを調整

- 各自治体の抱えている課題が異なる（アンケートやヒアリング結果）ことから、**共通テーマ（第2回）**と**個別テーマ（第3回）**を織り交ぜつつ、全3回のワークショップを企画
- 新型コロナウイルスによる影響により、**オンラインでの開催**

#### 第1回【目的意識の共有】

- ・実際の低未利用地でどのような取組が行われているか、誰がその取組を行っているか、**自分の目で見えて理解**する（ビデオを撮影し配信）。
- ・自らの**課題認識を参加者間で共有**（オンライン）し、次回のディスカッションに向けて、準備を行う。

#### 第2回【課題解決に向けた空間づくり】

- ・地域の**課題を解決するための具体的な取組**（空間づくり）を共通テーマとし、ワークショップを実施（オンライン形式）。

#### 第3回【各自治体の課題解決】

- ・第2回の議論をベースにしつつ、**各自治体の課題解決に資するテーマ**を設定の上、ワークショップを実施（オンライン形式）。

## 2. ワークショップのプログラム

### 公共空間活用に豊富な知識や経験を持つ専門家の参加

○ワークショップの開催にあたって、日本各地で公共空間活用に取り組まれている専門家に参加を依頼、話題提供や各自治体へのアドバイスを実施



ソン ジュンファン  
宋 俊煥

山口大学大学院創成科学研究科 准教授  
博士(環境学)/アーバンデザイン/エリアマネジ  
メント/東京大学大学院博士課程修了。東京  
大学特別研究員(JSPS)・山口大学助教を  
経て現職。株式会社にぎわい宇部取締役(非  
常勤)や宇部市中心市街地活性化協議会委員  
等を務める。エリアマネジメントの取り組み  
の重要性を問い、まちに根付いた活動を展開  
。代表的なものに「若者クリエイティブコン  
テナ(宇部)」があり、研究の傍ら実践的に  
まちづくりに従事している。



いずみやま るい  
泉山 塁威

都市戦術家/プレイスメイカー  
博士(工学) /日本大学理工学部建築学科  
助教/(一社)ソトノバ 共同代表理事・編  
集長/(一社)エリアマネジメントラボ共  
同代表理事/認定准都市プランナー/タク  
ティカル・アーバニズムやプレイスメイキ  
ングなど、パブリックスペース活用の制度  
、社会実験、アクティビティ調査、プロセ  
ス、仕組みを研究・実践・人材育成・情報  
発信に携わる。主な著書に「楽しい公共空  
間をつくるレシピ」「ストリートデザイン  
・マネジメント」など。



## 2. ワークショップのプログラム

### オンライン形式の利点を活かし、聴講者も受付

○3つの自治体に加えて、**オンライン開催の利点を活用して聴講者も受付**、以下のメンバーによりワークショップをスタート（全体で延べ58人参加）

区分	市町村名	WSで取り扱う話題
参加 (WS)	江津市	➤ 中心市街地近くでの密集市街地において発生する低未利用地の活用について
	倉敷市	➤ 市街地再開発事業における空地活用と都市再生推進法人の立ち上げについて
	竹原市	➤ 地域の商店街と連携した低未利用地や道路空間活用の取組の持続について
聴講	新見市	—
	広島市	
	呉市	
	尾道市	
	福山市	
	府中市	
	熊野町	
	下関市	
	光市	
	美祢市	
周南市		

### **3. 第1回ワークショップの概要 (キックオフ・専門家からの話題提供)**

**令和3年 1月12日**  
**会場：うべスタートアップ**  
**(オンライン配信)**

### 3. 第1回ワークショップ(令和3年1月12日)の概要

## WSのキックオフ&現地視察

### 第1回WSのプログラム

#### (宇部市会場よりライブ配信)

- 公共空間や低未利用地の活用に関する  
全国的な潮流  
(まちづくり専門家：泉山先生より)
- 宇部市における先進的な取組  
(まちづくり専門家：宋先生、宇部市担当者より)
- ワークショップを通して解決したい課題など  
(各参加者からオンラインにて発表いただき、意見交換を実施)
- 現地視察  
(若者クリエイティブコンテナ、オープンストリート)



泉山先生

- 国の政策にも「居心地」という言葉が追加され、取組が加速



宋先生

- 空間活用を始めると、活動が広がり、思わぬ効果も生まれる

#### ▼宇部市会場の様子



#### ▼オンラインでの発表の様子

【竹原市】話題提供資料

現地写真	ストリート全体	ストリート全体	店舗解体後の空き地
	店舗解体後の駐車場	R1 滞留空間づくりの取組	
課題認識やWSIにおいて意見を頂きたい事柄	単発的なイベントの企画などは比較的实施しやすいが、沿道店舗の協力・日常的な取組へつなげていくためにはどうすればよいのか。		

### 3. 第1回ワークショップ(令和3年1月12日)の概要


## 国の政策にも「居心地」という言葉が追加され、取組が加速

### ▼公共空間や低未利用地の活用に関する全国的な潮流 (泉山先生レクチャー概要)

- 地域のウィークポイントやボトルネックを見極めて改善の方法を考える
- 取組を動かすにあたっては、何のためなのか明確に共有しないといけない など

2021(R3) 1/12(火)

## 公共空間や低未利用地の活用に関する全国的な潮流



**泉山 聖威氏**  
(日本大学 助教)  
専門: 都市計画  
[エリアマネジメント・パブリックスペース]  
都市/エリア/プレイス  
● ソトバ(メディアプラットフォーム)  
[交流に参加したい人はソトバコミュニティへ]  
● パークコンテンツ研究会  
● 道路空間活用人材育成「WalkingLab」普及啓発  
● プレイスメイキング  
3月に国際会議

事例 → 参考にならないものはない  
全て特殊解... (コピーではなく) 共通ポイントを採る

**パブリックライフ = 空間 + 場 + 人**

Public LIFE = 空間 + 場 + 人

自宅でのくつろぎ(日常) → 都市へ

**日常が都市をつくる**

イベント

組織や制度(仕組み)から始めるのではなく、**事業や人**から始める! **Point**

今日はココのお話!

占める ↓ 線 ↓ 面 ↓ 円

占める: **ウォカブル・アーバンイズム** (ホムステイション)

線: **ウォカブル・アーバンイズム** (ウォカブル)

面: **プレイスメイキング** (回遊性)

円: **エリアマネジメント** (特長的に)

「プレイスメイキング」  
3月に国際会議

本日の参考書

## ウォカブル

国の政策に「居心地」という言葉が使われることに感動!

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」

「滞在快適性」とは一体何ぞや?

※注: 交通のルールをきちんとして(分)担いでやるのが大事。

**なぜ?**

コロナ禍でも海外では路上マーケット継続?

生活に必要なパブリックスペース活用

徒歩800m

20分圏ネイバーフッド

健康・経済性  
社会性・環境

## プレイスメイキング

SPACE ⇒ PLACE

10以上の人の多様な行動で成り立つ

食物、座る場所、水、太陽、スケル感、眺める場所、プログラム etc...

**どうやるか(手法)**

(いきなり社会実験では怪)

日常の情報を調査  
↓  
ウィークポイント、ボトルネック  
↓  
改善(施策・計画)の提案

人がたどる/その場所を使う

**何のためにやるのか**

- レ しっかりと市民の利益になるか
- レ 現状やニーズから政策を捉える
- レ 市民のニーズを調査する
- レ 現状診断・評価をする
- レ 印象とはちがう結果にコミット
- レ 調査にしっかり予算を

### 3. 第1回ワークショップ(令和3年1月12日)の概要

## 空間活用を始めると、活動が広がり、思わぬ効果も生まれる

### ▼宇部市における先進的な取組 (宋先生・宇部市担当者からのレクチャー概要)

- 目に見えない活動や努力はたくさんあり、何かあればすぐに議論できる状況にしておく
- 整備して終わりではない、その後の活用の方をむしろ重視して検討する など

2021(R3)  
1/12

## 宇部市 における 取組 について

**宇部市の概況**  
 人口: 約16.5万人  
 気候: 温暖  
 企業: 宇部興産 等  
 大学: 山口大学(医・工)

2020年版「住みかたの田舎」  
 ランク 第1位!! (宝島社)

フナガ 福次郎 氏  
 宇部市 (中心街街地活性化担当)

**宇部市の公共空間及び低未利用地活用について**

放置 ⇒ 戸所有と利用の分離  
 低未利用地 ⇒ ① 活用  
 ② マネジメント

★ **重要ポイント**

- まちづくり活動 (若者のエイティブ コンテナ (まちづくり会社))
- 広島市、竹原市にも開庁
- 専内: 都市デザインアーバンデザイン都市計画学 建築

★ **目に見えない活動・努力**  
 照明を整備!  
 出店料  
 展望  
 中央町ラボデザイン「Open City Ube」(ビジョン)作成

効果  
 歩行者増  
 多世代交流スペース

組織ができた  
 まちなかイベント実行委員会

### 新型コロナウイルス 感染症対策に伴う テラス席営業について

利用可  
 参加: 21店舗  
 12層~9層夜

前回(H15) → 今回  
 思わぬファサード効果!  
 店に来る人も増えた  
 お店もあつた

経緯 (国交省)  
 6/5 テラス営業要件緩和  
 6月中 対象道路の店に参加意向  
 7月中 申込書の提出  
 7/27 17店舗に使用許可  
 8/5 オープンストリート宇部開始  
 9/10 4店舗に追加使用許可  
 11/30 21店舗変更使用許可

課題

- 事故発生時の責任
- 浸透と拡充
- 自立化
- R3.4.1以降の実施

整備  
 日常的にできるおまかせ  
 電気・排水...  
 9:1  
 整備  
 その後の活用  
 9:1  
 整備  
 その後の活用



### 3. 第1回ワークショップ(令和3年1月12日)の概要

## 各自治体からの発表に対して、専門家からアドバイス

### ▼ワークショップを通して解決したい課題など(自治体による発表と意見交換概要)

- 検討の勘所をアドバイスし、次回以降のワークショップで具体的な解決策を議論

	江津市	倉敷市	竹原市
自治体の発表	<b>現状問題点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>密集市街地であり、災害危険性への対処</li> <li>住環境の改善(人口減少)</li> <li>地区コミュニティの活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>官民一体のオープンスペースを整備、イベントでの活用を期待</li> <li>エリアマネジメントの体制を検討、構築中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーキングデイなどの具体的な空間活用の取組を実施中</li> <li>取組を進めながら、まちづくりのビジョンも検討中</li> </ul>
	<b>解決したい事項</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>投資意欲や住民のまちづくりモチベーション向上</li> <li>土地利用、整備効果の見える化、評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり協議会の組織化</li> <li>持続的な活動の担保、制度の活用方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿道店舗の協力、日常的な取組へつなげたい</li> </ul>

専門家のアドバイス	<b>泉山先生</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区内で発生する<b>全ての空間</b>に対応するのは現実的でない。</li> <li>対応すべき<b>代表的な空間</b>はどこか考えるべき。</li> <li>そこでワクワクする取組は何ができるか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終的に誰がやるの？ <b>社会実験を通して、新たなプレイヤーを発掘</b>できないか？</li> <li>行政が「やってください」ではなく、地域がやりたいと思えるように<b>(ファンを増やす)</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジョンだけでなく、<b>アクションを先に見せると賛同者</b>が得られやすい。</li> <li>単発イベントも<b>継続</b>が大事。</li> <li>継続のため、<b>目に見えるハード的なもの</b>がいる時期かも。</li> </ul>
	<b>宋先生</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>選択と集中</b>でいかに効率よくやるのか？</li> <li>動線や拠点など、<b>現況を正しく把握</b>することが必要では？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリアマネジメントを行うことで<b>何を地域に還元</b>するのか？課題からもっと考える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>沿道の土地利用</b>にも広げて考える。</li> <li>市民のニーズはどうか？ビジョンづくりにも<b>市民参画</b>を。</li> </ul>

### 3. 第1回ワークショップ(令和3年1月12日)の概要

## まちなかで様々な公共空間活用、歩道空間活用を実施

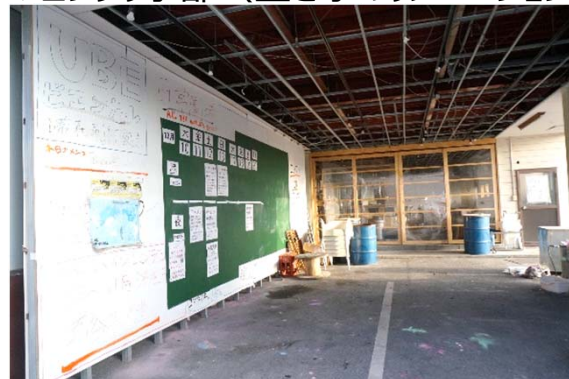
### ▼宇部市現地視察(宋先生説明、オープンストリート宇部参加店主インタビュー)

- しばふ広場ではベンチや照明等の設えを工夫し、コンテナと連携してイベントを実施
- コロナの期間中には、駐車場を活用してテイクアウトパークのイベントを実施した
- 道路占用許可基準の緩和を受け、オープンストリート宇部を実施。テラス席営業は、特に家族連れから好評で、通行人も興味を持っていた

▼しばふ広場に設置したベンチ



▼コンフリ宇部(空き家のリノベーション)



▼道路占有による飲食スペース提供



▼若者クリエイティブコンテナ



▼ポケットパーク・ストリートファニチャー



▼道路占有を活用した店へのインタビュー



## 4. 第2回ワークショップの概要 (グループワーク)

令和3年 2月 9日  
オンライン開催

# 4. 第2回ワークショップ(令和3年2月9日)の概要

## 専門家のアドバイスをもらいながら、自治体での議論を実施

### 第2回WSのプログラム (全面オンライン開催)

- 低未利用地や公共空間における事業の考え方  
(まちづくり専門家：泉山先生より)
- グループディスカッション
- 今後のディスカッションを進めるにあたってのアドバイス  
(まちづくり専門家：泉山先生・宋先生より)



泉山先生

- 空間活用の議論をするなら、組織や制度から考えてはダメ
- 空間活用の切り口を考えるにあたっては“WHY?”から考えてみる
- ペルソナを設定して、その人の行動を促すための場所を突き詰める
- やるべきことと巻き込むべき人を見つける



宋先生

- 認知度を高めて人を呼び込み、経済的な効果を生んでいくことが大事
- 広域の動きも把握した上で考える

### ▼オンラインでの発表

### ▼パワーポイントを活用したディスカッション

# 4. 第2回ワークショップ(令和3年2月9日)の概要

## 空間活用の議論をするなら、組織や制度から考えてはダメ

### ▼低未利用地や公共空間における事業の考え方(泉山先生レクチャー概要)

- 事業や人から考え、そこから組織や制度活用に落とし込む など

**事業の考え方** 2021.2.9 泉山先生

低未利用地や公共空間における

Win-Win-Winな関係をつくる  
雇用につながる → 景観・アクティビティ などにつながる

自治体 ↔ 空間 ↔ 利用者(市民)

「Power of 10」  
10種類以上の行動が(場所)生まれる  
PLACEが10以上ある都市

組織	事業
制度	人

「こちらから始め、」  
「そのためには必要なことを考える。」

**事例** 富山まちなか賑わいの広場「グランドプラザ」  
 ✓ 通行空間と滞留空間のゾーニングを分ける(居心地の良さを阻害しない)  
 ✓ サブテナント コアテナント → ダブル効果

エリアの視点  
↳ 小さなアクティビティや魅力の集積で木をさくろ

**プイス・キャピタル** (場の関係資本)  
↳ マグネットのような力で人をつなげる

市民  
ワークショップ  
スクリーン  
企業  
行政

「公共空間の活用」誰とギンシ、誰とやるか  
 ・ステークホルダー/プイスホルダー  
 ・**本場の一人から始まる** (学生をつなげる)

エゴジメット (周知)  
↓  
**SNSの活用** 発信だけでなくコメントやFBグループ等のやりとり

**事例** 「つながるDays」 泉ヶ丘ひろば  
やるコトの紹介ではなくやる人を紹介(パフォーム)

**何をやるかが決まったら ⇒ 組織・制度づくり**

## 4. 第2回ワークショップ(令和3年2月9日)の概要

### WSに向けて各自治体が事前に検討した資料を用いて議論を実施

第2回  
テーマ  
(共通)

活用企画の検討 (誰をターゲットに何をやるか)  
**実行しうるアクションの選択肢を持っておく**  
**(すぐにアクションできる、地元などに相談できるように)**

#### 【WSの進め方】

事前検討結果の発表  
(参加自治体で事前にアクションを検討)



先生方からのコメント  
(グループディスカッションのポイントなど)



グループディスカッション  
(各自治体内にて)



ディスカッション結果の発表  
と先生方からの講評

#### ▼事前検討の内容

#### ワークショップに向けた宿題シート①

自治体名: ●●市

Q どのような空間にしたいのか? 誰にどのように使ってほしいのか? そのために何をする?

場所 どこで?	※仕掛けを行う範囲を地図などで具体的に示してください
ペルソナ 誰の?	※ペルソナの設定は具体的に!(参考資料を参照)
ふるまい どのような行動を促す?	
仕掛け 上記を実現するために何を行う?	※取組みのイメージ写真(事例でも可)なども添付ください
活動の意義 誰にどのような効果が期待される?	※結果的に、行政(政策)や市民、民間事業者にどのような効果(メリット)が期待できるのでしょうか?

# 4. 第2回ワークショップ(令和3年2月9日)の概要

## 空間活用の切り口を考えるにあたって“WHY?”から考えてみる

### 江津市

- 切り口に悩んだが、江の川が近くにあり、この空間を活用できないかと考えている。
- 商店街と江の川の拠点でダンベル効果を生み出し、間の市街地や市民会館跡地に人を呼ぶことができないかと考えた。
- 江津駅前の商店街では若い人が空き店舗を活用しており、このあたりの人と意見交換をしたい。



● 若者が集まるのは、何かしらの魅力を感じているからである。そういう人を捕まえて話をすることが大事。  
● ごちゃごちゃしたまちの中で市民会館跡地は広い空間で、そこにオアシス的な広場をつくるのは面白い。



● これは何のためにやるのか。“WHY”が大切。  
● 豊かな住環境をつくるために何をすべきなのかという整理をしたほうがいい。

▼ 専門家の意見も踏まえながら、作成した資料をブラッシュアップ

中心市街地に位置しJR江津駅からも250mという立地の利点をこれといって活かせていない状況

危険な空き家や管理されていない空地が多すぎて外部から人を呼び込んでイベントなどができる状態にない

↓

外部から人を呼び込むことができるまちのイメージダウンにつながるのでは？

中心市街地に位置しJR江津駅からも250mという立地の利点をこれといって活かせていない状況

危険な空き家や管理されていない空地が多すぎて外部から人を呼び込んでイベントなどができる状態にない

↓

外部から人を呼び込むことができるまちのイメージダウンにつながるのでは？

60>GOTSU! 60>GOTSU! 60>GOTSU! 60>GOTSU! 60>GOTSU! 60>GOTSU! 60>GOTSU!

### 江津市の結果発表

どういった切り口にすべきか、  
高令者多く

公共広域  
江津駅前「ハレット江津」複合施設

商店街

若者による空き店舗の利用をしている  
↓  
意見をきいたことがなかったの

河川空間

ダンベル効果

明日からでも  
ヒアリングを!

- ハレット江津: キレイに整備され、色々な人の動きがある!
- 旧市民会館(取り壊す) → 心地良い空間にできるといい。
- WHYが大事。何のために取り組むの?  
この場所は江津市の“顔”、整備が必要。  
(密集市街地を中核的な住環境に)  
であれば、必ずしも人を呼ぶ必要はないのでは?  
豊かな住環境の実現のために何をすべきか、  
から先は、

宋先生 泉山先生

# 4. 第2回ワークショップ(令和3年2月9日)の概要

## ペルソナを設定して、その人の行動を促すための場所を突き詰める

### 倉敷市

- 再開発で新しくできるマンションの住民をペルソナに設定した。それに加えて、子供を呼び込むための縁日のようなものを週末に開催したい。
- そのようなイベントも都市再生推進法人の主催で行えればいい。
- 街区の居住者に使ってもらい、SNSや口コミなどの情報発信により、利用者が広がってほしい。



- 飲食店と広場の関係が非常に重要。
- 広場に植栽やベンチをきめ細かく置くことも大事。



- 広場に面しているテナントとの関係が重要。
- いい空間ができて、オーナーとの関係で上手く活用できないようではもったいない。
- 1階部分に銀行があると、平日の日中のみ人がいる空間になり、もったいないと考えることもできる。

▼専門家の意見も踏まえながら、作成した資料をブラッシュアップ

ワークショップに向けた宿題シート①	ワークショップに向けた宿題シート②	第2回ワークショップの検討内容
<p>Q このような空間にしたいのか？誰にどのように使ってもらいたいのか？そのために何をやる？</p> <p>ペルソナ 観光客が多い地域であるが、継続的な中心市街地活性化のために観光客だけでなく、市民が集まる空間としたい。</p> <p>誰の？ 【平日】シニア層(近隣住民)、ビジネスマン 【休日】ファミリー層(離れた地域に住む市民)</p> <p>ふるまい 【平日】地域の居るような空間、日常的に地域の人が集まる、散歩、毎日の散歩、健康、コミュニティ活動 【ランタイム】は周辺施設が休んでいる</p> <p>どのような行動を促す？ 【休日】 ・倉敷が市の中心部に足を運ぶきっかけ ・ファミリー層が休日を楽しむ ・「あちこち散歩」、散歩、商店街などを周遊</p>	<p>Q このような空間にしたいのか？誰にどのように使ってもらいたいのか？そのために何をやる？</p> <p>場所 倉敷市河辺町3丁目倉敷市河辺再開発事業(仮称)「あちこち散歩」</p> <p>どこまで？ 民有地、公共空間</p>	<p>Q このような空間にしたいのか？誰にどのように使ってもらいたいのか？そのために何をやる？</p> <p>場所 倉敷市河辺町3丁目倉敷市河辺再開発事業(仮称)「あちこち散歩」</p> <p>中心地がほしい空間 中高生がカフェでテイクアウトして遊ぶ 【休日】子どもが楽しい仕掛け 施設のないイベント、キックオフ、層別など 健康系、ランニング、ヨガ体験(毎週)・週末 子どもが楽しめる移動販売車(申請のまちづくり会社が都市再生推進法人) 子ども(幼稚園、小学生、中学生)※ 散歩から来る 近隣の街区分譲がないので、この空室広場にまでパフォーミングス(でんでん屋、カードゲーム等)</p> <p>親が楽しめるような仕掛け カフェやテイクアウト、お昼さん達が飲んでいる間に、子どもたちを選んでもらうなど 公共空間を、子育て世代をターゲットにしたい</p>

### 倉敷市の結果発表

- 宿題③ ペルソナをもう少し細かく設定
- 高級マンションに入る専業主婦  
↳ ネットのコミュニティも
  - 子育て世代  
芝生広場、パフォーマンス、カフェテイクアウト等
- 資料からいらい等わかりづらいので改善を。
- 公共空間と飲食店の関係
- ブロックリンの事例より、植栽なども大事(三角型の広場等)
- 広場に面しているお店の反応は？  
よそからの出店については？  
↓  
もめやすい  
↓  
市民と情報を共有できるように！  
(使い方が悪くなる場合も...)
- 銀行は1Fにはいり方がよい(15分程度閉まる)  
↳ グラドレベルの景観よく作る。  
高松のマルメ商店街：銀行1Fをもうワンシ空間に、見学に行かぬのは？

宋先生 泉山先生




# 4. 第2回ワークショップ(令和3年2月9日)の概要


## 認知度を高めて人を呼び込み、経済的な効果を生んでいくことが大事

### 竹原市

- 駅利用の中心である高校生をペルソナとした。  
高校生であれば日常の利用も見込める。
- 活用されていない空き地をバスケットコートにして、  
高校生を呼び込んでどうか。
- 関連してテーブルや椅子を置くと、日常的に人が  
滞留する空間ができるのではないか。
- 周辺の飲食店のテイクアウトも活用したい。



● その取組が**商店街全体にどう波及するか**が大事。  
● **高校生に加えてお金を使う大人を巻き込めるか**が大事で、健康遊具のようなものがあると、**大人も使えて、経済的な効果**にもつながるのでは。



● 最初は使ってもらえなくても、**認知度が上がると人が集まる**ようになったりする。  
● その場所での**行動を見たり見られたりする環境**をつくる**ことが大事**。

▼ 専門家の意見も踏まえながら、作成した資料をブラッシュアップ

ワークショップに向けた宿題シート③	ワークショップに向けた宿題シート③	ワークショップに向けた宿題シート③
<p>Q どのような空間にしたいのか? 誰にどのように使ってほしいのか? そのために何をします?</p> <p>場所 どこまで ペルソナ 誰の? あるかい どのような行動を促す? 仕掛け 上記を実現するために何をやる? 活動の意義 誰にどのような効果が見られるか?</p>	<p>Q どのような空間にしたいのか? 誰にどのように使ってほしいのか? そのために何をします?</p> <p>場所 どこまで ペルソナ 誰の? あるかい どのような行動を促す? 仕掛け 上記を実現するために何をやる? 活動の意義 誰にどのような効果が見られるか?</p>	<p>Q どのような空間にしたいのか? 誰にどのように使ってほしいのか? そのために何をします?</p> <p>場所 どこまで ペルソナ 誰の? あるかい どのような行動を促す? 仕掛け 上記を実現するために何をやる? 活動の意義 誰にどのような効果が見られるか?</p>

### 竹原市の結果発表

- 宿題③ 竹原駅前  
ペルソナ: 高校生(15~18才)  
バスケットコート + 滞在空間(勉強、飲食等)  
(目的地)
- 活用の取組が周辺(商店街)に波及する?  
*どう*
  - 子ども木野だと経済うみにくい  
↓  
簡トレ遊具(事例:メルボルン) ランニングするおな大人  
※ 高齢者向けの健康遊具ではなく。
  - 簡単にやれることからやってみる(ゴール置く、白線置く)
  - 宇部のコンテナ: 最初は高校生きていなかったが、ワチコミで徐々に
  - バスケコートが 舞台のようにならばよい。
  - スケボーも(パーティションで区切るなり)できるといいよ。

## 4. 第2回ワークショップ(令和3年2月9日)の概要

### 広域の動きも把握し、やるべきことと巻き込むべき人を見つける

#### ▼今後のディスカッションを進めるにあたってのアドバイス (泉山先生・宋先生)

- 低未利用地などの活用にあたっては、まち全体のビジョンやランドデザインも必要
- プレイヤーがないと言うが、実は見つからないだけである など

三津市: 取組も民間する場所を選ぶ場所

"ランドデザイン"について

モビリティの拠点から  
どこに場所を設定するか

回 宇部市でやったこと

↳ 馬主車場が多すぎる ⇒ 稼働率を調査  
↓  
↳ 4割...00

イベント時に来場者にアンケート

外側によく使われる馬主車場を  
まとめる

ex. 多治見市: 馬主車場の  
一元管理

↳ 歩けるルート ⇒ 外路空間見直し

↓  
WSしながらストリートに名付け  
(まちをつくる方向性を決める)

宋先生

倉敷市・竹原市: プレイヤーの見つけ方

□ あとがワ!ニダ-ランド (愛知・岡崎市)

- 参加型社会実験 (5月~11月)

プレイヤーを公募... できる時に  
やりたこととする。

窓口・PRを一元化

"プレイヤーがいない" ⇒ 見つけていないだけ

神田の社会実験

町会のカッパ ⇒ 最初に審査 → 12つのチームが  
生まれた

100リナ (仮想だが) への  
取組をやらせようか。

公募してWS  
60~70%

・ 神田在住  
・ 神田に関心がある  
・ 一本釣りも。

※ 企画をブラッシュアップする必要はある。

泉山先生

## 5. 第3回ワークショップの概要 (グループワーク)

令和3年 2月26日  
オンライン開催

# 5. 第3回ワークショップ(令和3年2月26日)の概要

## 専門家のアドバイスをもらいながら、自治体での議論を実施

### 第3回WSのプログラム

#### (全面オンライン開催)

- グループディスカッション
- WS参加を通じた竹原市の具体的取組  
(竹原市：伊藤氏)
- ワークショップの総括



泉山先生

- 365日のうちの1日も大事だが、日常的なにぎわいはもっと大事
- この場所のファンは誰か？この場所の主役は誰か？を考えてみる



宋先生

- 空間活用とテナントとの関係も大事で、まち全体への波及も考える



伊藤氏(竹原市)

- やってみると前向きな人も多く、取組が広がれば、楽しみも大きくなる

### ▼最終の成果発表

### ▼竹原市からの取組報告

## 5. 第3回ワークショップ(令和3年2月26日)の概要

### WSに向けて各自治体が事前に検討した資料を用いて議論を実施

第3回  
テーマ  
(個別)

各自治体の課題解決に向けて  
(アクションの内容、取組主体の形成など)

#### 【WSの進め方】

- 事前検討した内容を発表し、先生方にアドバイス（修正・ブラッシュアップすべき個所）をいただく。
- アドバイスを踏まえて、各自治体内にてグループディスカッションを行い、その結果を全体で発表。
- 今回の検討については、各自治体の状況に応じて個別にテーマを設定。

▼各自治体ごとに設定した第3回ワークショップのテーマ

江津市	倉敷市	竹原市
<ul style="list-style-type: none"> <li>・低未利用地活用と周辺まちづくりとの関係性（なぜ空間活用が必要か）</li> <li>・まちづくりに取り組むにあたっての第一歩のアクション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペルソナ設定と空間イメージの深度化</li> <li>・誰が誰と何をするのか（主体形成とプロジェクトデザイン）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間イメージの深度化</li> <li>・事業や人から、組織化や制度活用への展開（どう継続したエリアにしていくか）</li> </ul>

# 5. 第3回ワークショップ(令和3年2月26日)の概要

## 365日のうちの1日も大事だが、日常的なにぎわいはもっと大事

### 江津市

- 市の中心地にある密集市街地において、住環境の向上を目標に歩きたくなるまちを目指す。
- ミズベリングなど、河川環境も有効に活用しながら、子供の集いの場にしたり、健康づくりに資する空間にしたい。
- クーポンなどのソフト面からも取組を行いたい。

▼意見交換を経て作成した成果(一部)



- ・文字で記載している内容を**絵で描いてみる**といい。
- ・全て手を付けるのは難しいので、**どこから手を付けるか考える**。
- ・5月くらいから気候が良くなる。**すぐにできる取組**も考えてみてほしい。



- ・**日常的なにぎわい**にも配慮することが大事。
- ・水辺に行きたい人に加えて**行かない人もこのエリアで楽しめる**ような工夫があるといい。
- ・冬などの**季節も考えて**みて面白いのでは。

### 江津市 議論結果の発表

**どこで** 市の中心地 → 居心地のいいまち

**レベル** 20~35歳の大人

**アクション** 江の川の**水辺空間**を**活用**

MIZBERING GO TSU

水辺

1/4 水辺で乾杯  
1/6 花火大会  
0 手作りいかだ祭り etc!

フリーWi-Fi 子どもの集いの場、健康遊具、中高生、遊歩道

物産交流

矢印を全て整備するの？

1/4 (水辺の乾杯) を得た時に、できることをどんどんやっていきましょ!

### 先生のコメント

(青:宋先生 緑:泉山先生)

■ **ペルソナ**が少し広すぎる → **場合分け**

- ・水辺に行かん/行かない
- ・季節分け (冬はどうする? など)

Q. イベントを打つ時に、若い人が来る 効果的な発信方法は?

A. ママ友LINE, スナックなど、やはり **人** が効果的

- ・市報が届いてるのか? という) イキ、やってることを伝えたいと思ってる
- ↓ **自分が行きたいと思えるものを作る** (見た!!)

江津市: 去年の社会実験ではまちにコレでした!

A. 色んな方法でアンケートで "どうやって知った?" をきく。SNS, 口コミが9割!!

- ・子どものイベント... 小学校で配ってらっしゃる幼稚園
- + 最初の印象大事! 口コミで伝わるのは中身!

# 5. 第3回ワークショップ(令和3年2月26日)の概要

## 空間活用とテナントとの関係も大事で、まち全体への波及も考える

### 倉敷市

- 再開発で整備される広場に人々が憩い集う場所づくりをめざす。
- 平日休日別にペルソナを設定して行動パターンを考えてみた。
- マンションの住民も活動の担い手とすることで、都市再生推進法人と一体的に継続的な取組を目指していく。

▼意見交換を経て作成した成果(一部)



- 広場と開発テナントを一体**で考えることも重要。
- 市の中での**パブリックスペースの位置づけ**を明確にして**ペルソナの幅を広げて**ほしい。
- テナント誘致**でも、市の思いが反映できるといい。



- 都市再生推進法人に関しては、**公共性があるかチェック**をした方がよい。
- さびれた地域のお店を出店させるなど、**まち全体がよくなるような仕掛け**があってもいい。

**倉敷市 議論結果の発表**

**どこで?** JR倉敷駅 から 南へ 約200mのところに3  
(一体的なオープンスペースを整備)

**ペルソナ①** 平日: 40代 専業主婦  
3人家族(中学生1人)  
と連れて、ペットに大!

**アクション** 日常的にオープンカフェ使用、くつき

**ペルソナ②** 休日: 30代 共働夫妻  
(パート)  
4人家族(小1、幼1)  
地区外に居住

**アクション** 小さなイベントが色々行われている  
\*マンション住民の30代世代が担い手に→継続的に!

先生のコメント

- 平日の活用がどこにも課題  
 ・なぜ高層層に? → 再開発エリアに出来るマンションが高級  
 ・2人目、3人目のペルソナを設定するとよくなる  
 [平日の]
- 「未定」のテナントにはぜひ交流機能があるものを。(意図をもつ)
- 都市再生推進法人...公共性考えながら活動  
 どちらが大事!  
 まち全体が良くなる仕掛け  
 ・チャレンジショップ出店  
 ・弱ってるお店のサポート(集客) etc.  
 周囲に住んでいる人との  
 連帯をバックアップ

Q. (前回話に出た) 銀行の事例について詳しく教えてほしい。

A. 丸の内...1Fに銀行多く、人が多くなるおにぎりに  
→ ガイドライン作成、1Fが飲食・物販に

A. カフェ・シスコのビジネスSNSのオンス  
 高松にあったにはお茶屋 喫茶店に行ってみて下さい

(緑: 泉山先生 青: 宋先生)

# 5. 第3回ワークショップ(令和3年2月26日)の概要

## この場所のファンは誰か？この場所の主演は誰か？を考えてみる

### 竹原市

- 駅前通りでは、空き地・空き店舗が増えており、取組を進めている。
- ここを日常的な目的地にしたい、バスケットコートや滞留空間など、10種類以上の行動を促す空間を提供する。
- さらに多目的ルームも活用して風景を変え、沿道商店への経済効果を生み出したい。

▼意見交換を経て作成した成果(一部)



・そこに誰がいるかを想像すると、**場所のファン**が見えてきて、**プレイスキャピタル**という考え方につながる。  
・多目的といいつつも、**何らかのコンセプトを持った場所**にしていくのが大事。



・ぜひ、**実現に向けて進めて**いただければと思う。  
・多目的ルームでボルダリングという考え方はいいが、**バスケットコートとのつながり**を意識して、屋外でもいいような気がした。

**竹原市 議論結果の発表**

**どこで** 竹原駅前 商店街 ありふる通り  
→ 商店街に人があつまるきっかけづくり

① 日常的な目的地となる空間(場所)を  
② 駅Rと目的地をつなぐ空間をつくる

**ターゲット①** 竹原駅を利用する高校生

**仕掛け** ① 空き地を活用した **ダブル1**  
② **バスケットコート**  
③ 歩道を活用した **滞留空間**

**ロードマップ** 視点を変えて、2つ目の目的地

**ターゲット②** **多目的ルーム**の活用  
社会人・男性 (20~30代)  
レボルダリング  
レ勉強、図書スペース  
レ趣味、活動スペース → 利用料

次のアカーセキッホキの視見...  
(欲を言えば...) **機能から入るのではなく**

■ **そこには誰がいるのか** **人** ソーシャルもせつ  
プレイスキャピタル

↓  
多目的ルーム: **コンセプトを持った**  
レタリススペースに  
たの「箱」にならないように。

■ **ボルダリングは屋外** (バスケットコートのとほりなど)  
**ぜひ実現して欲しい** (笑顔) **でも**  
**よいのでは?**

先生のコメント  
(緑: 泉山先生 青: 宋先生)



# 5. 第3回ワークショップ(令和3年2月26日)の概要

やってみると前向きな人も多く、取組が広がれば、楽しみも大きくなる

## ▼WS参加を通じた竹原市の具体的取組 (竹原市 伊藤氏)

- 昨年度のワークショップ参加を通じて、宋先生との関係を構築
- 宋先生にアドバイザーになっていただき、地元でウォーカブル勉強会を立ち上げ
- 社会実験として駅前空間を公園のように人々に使ってもらえる空間に
- 社会実験を運営した上でビジョンを策定すると説得力がより強くなる など

竹原駅前エリアの  
ウォカブルな  
まちづくりについて

竹原市  
都市整備課  
伊藤様

1. ウォカブルビジョンの策定

公民連携による小さなまちづくり

駅前エリア全体の魅力が低下

空き店ホの増加

★竹原 ウォカブル勉強会  
駅前エリア (任意団体)

構成メンバー: 地域住民, 民間事業者,  
観光協会, 沿道商店,  
まちづくり会社, 行政職員

アドバイザー: 宋先生

2. 試行的な取組 (社会実験)

馬路を公園のように

昼 人工芝、ハモック、ラベンダー、テイクアウト、  
電子ピアノ ⇒ 今までになかった  
etc 居心地の良い空間に。

夜 照明大事 ほぼライトアップに苦勞...

実践者の声 前向きなもの  
とてもよかったです!

3. おわりに

◎ 居心地の良い滞留空間大事 確心

日常的な取組み → ビジョンに反映

◎ 社会実験 ビジョン策定!!

せよ、やってみて下さい。

が大事

宋先生: 感動してます!

去年の今夏にスタート! (Parking Day 参加中)

良か点! 社会実験をからめてビジョンを作ったこと。

これがスタート (もっちゃんもヨ!)

どう色んな活動できるおサホトできるか。

全国的な潮流を見られる (URL共有)

Q. 江津市: 勉強会の地域住民の層  
→ 30~50代

どれくらいの予算? (社会実験)  
→ 50万円 ~ 60万円

準備はどれくらい?  
→ 勉強会のメンバー / 主体的に (策定) → 伊藤氏自身がかなり動かしていた  
すでにスプレッドシートで人と組む

Q. 倉敷市: ハモック危険な使い方などどうした?  
→ 調査員が常に行った (その場車道と歩道のキワの方が大変)  
→ 赤いテープで目印を毎日貼る。

## 6. おわりに

## 6. おわりに

### ワークショップお疲れさまでした。具体的な取組を期待しています。



- ・こういった他の自治体が検討しているところを聴くのも非常に珍しいと思うし、こういう**研修という枠組みも非常に有意義**と思っており、来年度も続けていただきたい。
- ・3つの自治体の方々には、色々としがらみもあると思うが、**時代も変わり社会実験をやることも普通**になってきており、**民間事業者も含めてどう動かしていくのか**が求められている。
- ・継続的な運営や日常的な活動は**地道な活動**になる。呼ばれれば駆けつけるので、皆さんには**取組を続けてもらいたい**。



- ・本当にお疲れさまでした。昨年より自治体数を絞って、**自分の自治体をフィールドに、抱えている課題を考えられた**のがよかった。
- ・WS実施前に事務局の会議で、人材育成の中でこれでいいのかという不安もあったが、逆に**いろんな学びもあったり提案**もあって、来年度に向けていろんな取組が生まれるんじゃないかなと思い、良かったと思う。

#### 【中国地方整備局より】

- ・WSの議論で終わるのではなく、各参加者の中で議論していただき、**課題の解決につなげていただきたい**。
- ・官民連携の話をするところがあるが、**どう民間を巻き込むか**が行政側の課題とよく言われる。先生方は、官民にとらわれず、**どろくさい人のつきあいが大事**と言われていて、そのようなつきあもないがしろにせず、取り組んでももらいたい。
- ・すぐに効果が出るものではないが、**がんばっていただきたい**。

## 6. おわりに

### WS参加者の感想など

#### Q. WSに参加して気づいたこと・発見したことはありますか？

- ・行政目線だといつ市民全員へのサービスを考えてしまうが、ペルソナ（対象）を細かく設定すること、**そこに来る人にどんな行動を促すのか（通過ではなく目的地とする）が重要**だと学べた。

#### Q. 専門家からのアドバイスで印象に残っているものは？

- ・まちづくりは制度や組織から入るのではなく、「**誰がやるのか」「何のためにするのか**」が**重要**であるとの指摘があり、**今までエリアマネジメントの仕組みばかり考えていたので、非常に印象に残った。**

#### Q. ワークショップに参加する前に抱えていた対象地に関する課題は、解決できましたか？

- ・今まで手探り状態で検討を行っていたので、**専門家の先生に指摘をいただくことで、再検討するきっかけができた。**まちづくりの観点からテナントを誘致するなど、**今まで考えていなかったアドバイス**をいただいた。

#### Q. ワークショップを通して空間活用に向けた考え方やノウハウを学ぶことはできましたか？

- ・まちづくり初心者なので**ペルソナ手法**や**ダンベル効果**などいろいろ学ぶことができた。

#### Q. ワークショップを通じた学びや気づきを、取組の実現・実践につなげることはできそうですか？

- ・令和3年度に**歩行者天国にする社会実験を実施する予定**である。バスケットコート設置やダンベル効果など**ワークショップで議論したエリア設定・企画について、具体的に取り組んでいきたい。**

#### Q. ワークショップに参加して良かった点がありますか？

- ・事務局の方がファシリテーターとして入りながらブレイクアウトルームで作業する等、**Zoomの機能を活用してリモートでも質の高いワークショップ**となっていた。
- ・地域の現状を知る**庁内の複数人で参加**することで、**現状に即した解決策を検討**できた。

#### Q. ワークショップに参加して悪かった点がありますか？

- ・**オンラインでの参加であったため、交流が深められなかった。**良かった点の反対で、**第三者の意見を聞きたかった。**
- ・**参加自治体の間でもっと気軽に、自由に話せる時間**があれば良かった。